
ゆらり ほろり

あま屋 なお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ゆらり ほろり

【Nコード】

N9924A

【作者名】

あま屋 なお

【あらすじ】

新しいクラスに馴染めない私めくグループにはなんとか入ったが！？

1

恥（前書き）

時が経つのは早い

つい最近のことがとても懐かしい

戻りたい

戻れない

時が経つのは早い

つい最近のことがとても懐かしい

戻りたい

戻れない

「おはよう三組」

このクラスのお馴染み挨拶である

このクラスになって二週間は過ぎた

相変わらずこのクラスに馴染めないながらも

一つのグループに入った

馴染めない 私は私の中で、私は、人見知り激しいから の言葉
で壁を作ってる

駄目な女の子なのである。

どんなことを話せばいいのか、分からない。

ただ 皆の話を聞いて「あはは」と愛想笑いしてるだけ
自分から話題をふるうなん思わない。

それで 流されたり シラケるのが怖いし 恥ずかしいから・・・。

廊下で歩くときなんか二人じゃ歩けない

しーんとなる空気が怖くて歩けない

二人だよ。。 なにも話せないって。避ける私はいつの間にか
一人ぼっち。

私が入ったのは四人グループ

ちょうど廊下は三人ぴったし歩けるから

前に三人後ろに私 「えへへ」 一人も恥ずかしいね

だから移動教室とかも嫌 一人だから

やだね
・
・
・
えへ
へ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9924a/>

ゆらり ほろり

2010年10月9日00時34分発行